

SAGA2024

情報支援者養成事務局だより

要約筆記

はじめての筆談・要約筆記体験教室

～2024年の大会に関わりたい。文字情報の大切さを体験～



白石町で開催しました。



11月11日・18日・25日(毎木曜日) 全6時間

白石町福富ゆうあい館で、8名が受講されました。(修了者7名)
文字情報の大切さを知り、大会に関わりたいと意欲的でした。



～受講者の感想より～

- ・わかりやすい講座で筆談・パソコンの体験は楽しかった。
- ・伝わるかどうか、実際に難聴者と筆談してみたい。
- ・内容によっては共通認識がないと伝わりにくく、難しいときもあるとわかった。
- ・ただ書いて伝えるだけでなく、気持ちを寄せてコミュニケーションをとることが大事だと感じた。
- ・要約筆記をもっと学びたい。
- ・SAGA2024のボランティアに参加したい。



筆談ポイント

● まわりくどい表現はシンプルに

- ・ わかりかねます。 → わかりません。
- ・ 致しかねます。
- ・ できかねます。 □ できません。

● 丁寧すぎず、わかりやすさも大切に

- ・ お待ちいただいでよろしいですか。 □ お待ちください。

● 二重否定を肯定に

- ・ ないわけではない。 □ ある。
- ・ できなくはない。 □ できる。
- ・ 知らないことはない。 □ 知っている。

わかりやすく



嬉野市で開催しました。

12月7日・14日・21日(毎火曜日)6時間

嬉野市うれしの市民センターで、10名が受講され、
全員に修了証が交付されました。

～受講者の感想より～

- ・わかりやすい講座で楽しかった。
- ・筆談で書いているときは相手の表情が見えないので気をつけたい。
- ・難聴者がどのように聞こえているのかはじめて知り、聞こえない人の感覚が少しわかった。
- ・普段でも、今後の仕事でも役立てたい。
- ・聞きながら書いている間に次の話に進むため、記憶することが難しかった。
- ・UDトークも活用していきたい。
- ・「要約筆記」のことは聞いたのが初めてだったが、あらためて重要な役割だと感じた。
- ・筆談は多くの人が使えるので、わかりやすく書くことが重要だと思った。
- ・全障スポ大会の情報支援に参加できるよう、ぜひ続きを学びたい。
- ・筆談・要約筆記をたくさんの人に知ってほしい。



↑ パソコン要約筆記体験



☆教室修了後にも問い合わせがありました。令和4年度も実施予定です。

三重とこわか大会の養成状況ヒアリング

～8月に無念の中止決定も気持ちを切り換え～

12月に三重県聴覚障害者協会で、3年前より情報支援者養成に携わられた会長の深川さんと職員の谷さんにお話を聞きました。

三重とこわか国体・三重とこわか大会（全障スポ大会）は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。ボランティア登録者からは「残念」「活動を楽しみにしていた」との意見が多く、別の形で活動を継続できるよう調整されています。

<研修>

全員が簡単な手話・筆談で対応できるようにした。

コロナ対策のために対面でできず、オンラインや配信など工夫。YouTubeは、時間や移動を気にせず繰り返し視聴できるが、コミュニケーションがとれず難しい点もあった。

- ・理解度が把握できない
- ・一度も視聴していない人がいた
- ・筆談で大切な相手の視線や体の角度を意識できない

<準備品>

- ・筆談具は扱いやすい B5サイズ
- ・すぐ消せるようリストバンドを使用
- ・特に雨天対応を大きな要素として考慮（大判ホワイトボードにビニールをかける、何度も使う用語はパウチしておく） など。



筆談用ホワイトボード

◎アドバイスいただいたことを参考に、2024年に向けて取り組んでいきます。

***令和4年度のいちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会が開催されることを願っています。**



～1分間に何文字くらい書けますか？～

人が話すスピードは、1分間に300～350字程度、早口の人だと500字くらいといわれています。

一方、書くスピードは1分間に60～70字程度です。

話すスピードと書くスピードには差があります。聞こえた内容を全部書けるわけではありません。しかし、相手に伝える「情報」を減らすわけにはいきません。

要約筆記は、話された内容の主旨をつかみ、要約しながら書いて追いついています。

| | |
|--------|------------|
| 話すスピード | 300～350 文字 |
| 書くスピード | 文字 |

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

国スポ・全障スポ大会 情報支援者養成担当 中尾

TEL 0952-40-7715 (直通)

FAX 0952-40-7716 (直通)

メール nakao@saga-mimisapo.jp

津市産業・スポーツセンター サオリーナ

「サオリーナ」は、三重県津市出身の元レスリング選手



「吉田沙保里さん」にちなんで命名された複合施設。吉田さんがオリンピックで着用されたウエアなどが展示されていました。



三重とこわか大会（全障スポ大会）では、バスケットボールと車いすバスケットボールの競技が行われる予定でした。

県内の各競技会場は、今後も競技会やイベントで活用されます。



編集後記：北京冬季オリンピックではたくさんの感動がありました。冬季パラリンピックも期待しています。また、5月にはブラジルで聴覚障害者のための「デフリンピック」が開催される予定です。応援しましょう！

